

# 教育 つるおか

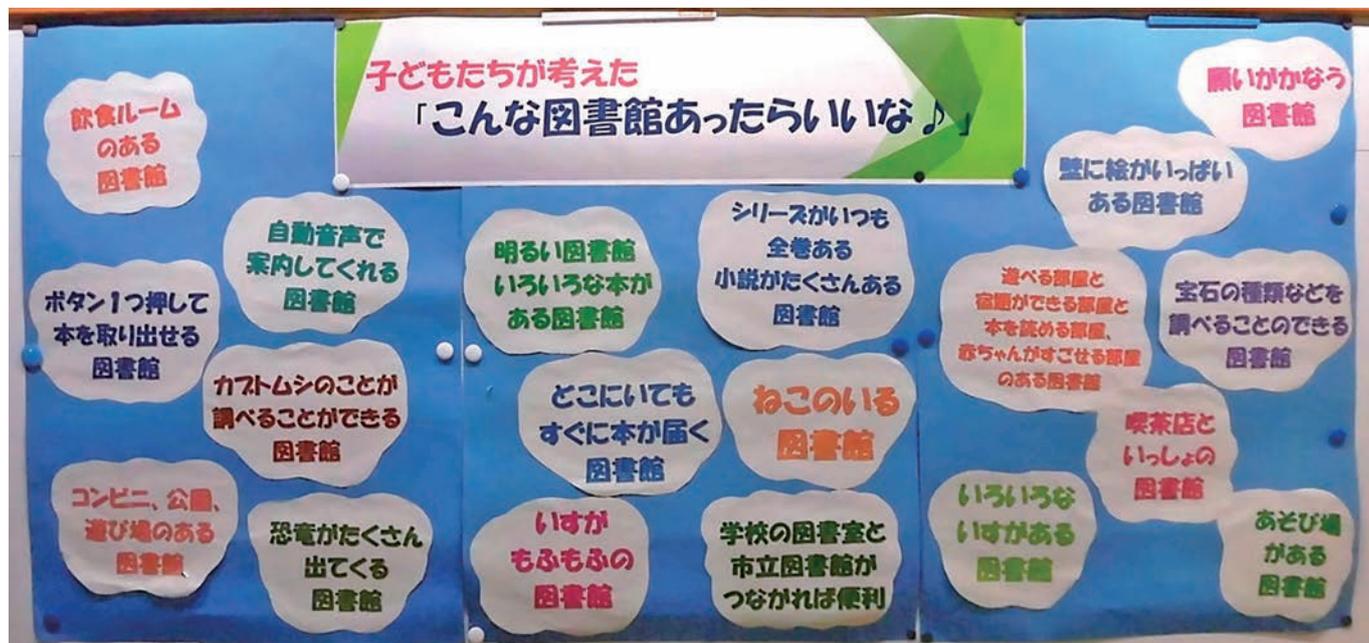


2 0 2 5

令和7年3月1日

編集・発行／鶴岡市教育委員会事務局管理課  
〒997-0346  
山形県鶴岡市上山添字文栄100  
電話 0235-57-4861  
FAX 0235-57-4886  
メールアドレス kkyouiku@city.tsuruoka.lg.jp  
http://www.city.tsuruoka.lg.jp/

Tsuruoka Public Education Announcements Vol.22



小学生対象のイベント「図書館ナイトツアー」で募集した理想の図書館



第1回「あなたにとってよい図書館とは？」 第2回「あなたは図書館で何をしたいですか？」 第3回「まちの誇りにつながる郷土資料の使い方は？」

3つのテーマについて語り合った図書館ミーティング

**P2** ・鶴岡市立図書館新館整備に向けて  
・藤島地域の義務教育学校設置について

**P3** ・新教育委員のごあいさつ  
・子ども夢スポーツフェスティバル in 鶴岡2024  
・藤沢周平記念館『龍を見た男』企画展

**P4** ・姉妹都市ニューブランズウィック市へ中学生訪問  
・鹿児島市青年交流事業  
・荘銀タクト鶴岡が地域創造大賞(総務大臣賞)を受賞  
・給食から防災を学ぶ

## 新図書館整備に向けた市民対話

現在、新しい市立図書館の整備に向けて準備を進めています。

これからの図書館について語り合う機会をいろいろな形で設け、様々なご意見をいただいています。

- ◇つるおか新図書館基本構想企画懇話会(全3回)
  - ◇つるおか図書館ミーティング(全3回)
  - ◇分館図書館ミーティング(藤島・羽黒・櫛引・朝日・温海)
  - ◇デジタルプラットフォーム
  - ◇図書館ナイトツアー(小学生対象)
  - ◇アンケート調査の実施 など
- (令和6年度開催)

## 鶴岡市立図書館 新館整備に向けて

現在の鶴岡市立図書館の建物は昭和60年（一九八五年）に現在地に建設され、今年で40年を迎えます。最近では築年数の経過に伴い、施設・設備の老朽化や、蔵書数増加に伴う狭さ、駐車場不足など様々な課題が表面化してきました。また、多様化する市民ニーズやまちづくりの中核を担う施設として図書館への関心が高くなってきたことから、市では新図書館の整備に取り掛かることとし、今年度は「鶴岡市新図書館整備事業基本構想」を策定することになりました。

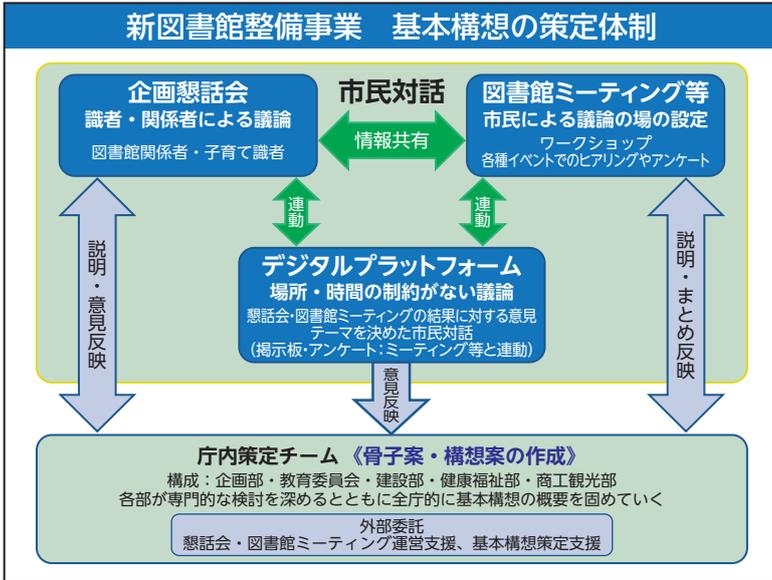
- 基本構想策定に向けて、山崎博樹氏（NPO法人知的資源イニシアティブ代表理事）をアドバイザーに迎え、市民の方々と最近の図書館の整備や活用などの事例を共有し、図書館の課題やどう利用したいかを伺うために3つの機会を設定しました。
1. 有識者による「つるおか新図書館基本構想企画懇話会」
  2. 市民参加のワークショップ

3. プ「つるおか図書館ミーティング」  
時間や場所によらず意見交換「デジタルプラットフォーム」  
その他、市民アンケートや説明会等での意見を反映させながら構想の策定を進めています。

引き続き市民の皆さまからご意見をいただく機会を設けていきますのでご協力をお願いいたします。



### 新図書館整備事業 基本構想の策定体制



## 藤島地域に義務教育学校を設置することが決まりました

児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化などの課題を踏まえ、藤島地域では、令和3年度から地域振興懇話会や教育振興会議で教育環境のあり方について検討を重ねてきました。今年度設置された藤島地域小中学校整備検討委員会では、各小学校区の懇話会や先進地視察を経て出された意見を踏まえ、施設一体型義務教育学校に賛成する意向と、整備に当たり配慮すべきことに関する意見が取りまとめられました。これを受け、令和6年12月定例教育委員会で「藤島小学校、東栄小学校、渡前小学校及び藤島中学校を統合し、施設一体型義務教育学校とする」ことが決まりました。

来年度からは設立準備委員会を立ち上げ、新たな学校の設置に向けて、通学方法（スクールバス）・交流事業や地域行事のあり方・学校施設・運動着等学校生活に関すること・PTAや学校運営協議会、同窓会など後援会組織に関することなど、地域の皆さんと対話しながら検討を進めていきます。

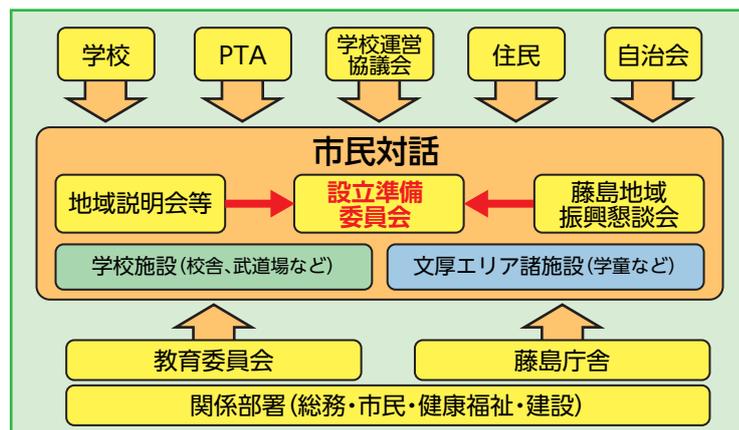
### 藤島地域に設置される 施設一体型義務教育学校の 主な特徴

9年制 校長は1人

一つの施設で  
小～中学生が学ぶ

義務教育学校は、全国には207校、県内には最上地域に3校あります（令和5年5月現在）。県内各自治体でも小中一貫教育の推進とともに検討されてきており、全国的にも増加傾向にあります。

### 設立準備委員会の検討イメージ



令和6年11月12日、新たに教育委員に任命された小林委員から、就任にあたってのあいさつを申し上げます。

## 子どもたちの笑顔のために



教育委員

小林 真貴子

このたび教育委員を拝命いたしました。このお話をいただいた時、「なんで私なのだろう？」と不思議でたまりませんでした。夫も同じ思いで、「なんで？だまされているんじゃない？」と言われましたが、その一方で私という存在を認めていただいた、そんな気持ちもあり、嬉しかったことを覚えていきます。

私は、小学生と中学生の三人の子を持つ「普通のお母さん」です。教養も資格も、特に自慢できるものもなく、こんな私が務まるのだろうかと不安でいっぱいですが、私に出来ることは、子どもを育てる中で生の声を伝える、アイデアを出して発言していくことだと考えております。

子どもたちの笑顔がこれからも咲き続けていくためと、それを取り巻く大人たちが活気にあふれ、精神的に取り組んでいただけるように、先輩方からのご指導を頂戴しながら、私にできることを精一杯務めさせていただきます。私にできることを精一杯務めさせていただきます。私にできることを精一杯務めさせていただきます。

## 子ども夢スポーツフェスティバル in 鶴岡2024

ふるさと観光大使の齋藤真希選手と

10月13日(日)に、

子ども夢スポーツフェスティバルin鶴岡2024をJA鶴岡だだちやアリーナを会場に開催しました。

本イベントは、子どもたちが運動の楽しさを知るきっかけとなるよう、親子で一緒にスポーツを楽しめる内容を盛り込みながら、毎年実施しているものです。

今年も、陸上女子円盤投で活躍する齋藤真希選手をスペシャルゲストとしてお迎えし、来場した子どもたちと一緒にニュースポーツ8種目とアキュラシー(※)体験に挑戦しました。さらに、齋藤真希選手は同日付けで鶴岡市ふるさと観光大使に任命され、委嘱状交付式も行われました。

また、明治安田生命山形支社の協力のもと健康チェックブースが設置され、約800名の来場者



来場者と大玉ころがしに挑戦する齋藤選手



アキュラシー体験

が、運動の楽しさや自身の健康機能を再認識した1日となりました。

※アキュラシー：フライングディスク競技の種目のひとつで、ゴールへディスクを投げ入れた通過数を競うもの。スローコントロールの正確さが問われる種目。

## 藤沢周平記念館

『龍を見た男』の企画展を開催中です

藤沢周平記念館では、第22回企画展「龍を見た男」の世界を3月25日(火)まで開催しています。『龍を見た男』は、庄内沿岸の油戸や加茂、龍神伝説が伝わる善寶寺を舞台に、強情で無信心な漁師を主人公に描いた短篇小説です。本作は、昭和51年の善寶寺辰年御縁年をきっかけに執筆されました。

企画展では、作品のための取材内容などを記した創作ノートや、善寶寺の縁起を詳細に記したエッセイ「善寶寺物語」の自筆原稿、執筆の際に参考とした書籍など、貴重な資料を展示しています。

また舞台になった善寶寺や、庄内浜の漁業、北前船で栄えた加茂湊についての展示、作中で用いられる庄内の方言を紹介しています。藤沢作品と鶴岡への親しみを深めていただければ幸いです。ぜひお越しください。



姉妹都市アメリカ・ニューブランズウィック市へ行ってきます！

3月22日から28日にかけて、本市の姉妹都市であるアメリカ・ニューブランズウィック市に市内中学生6名が訪問します。



訪問する中学生たち

前回平成31年の訪問後、新型コロナウイルスなどの影響で途絶えていましたが、今回6年ぶりに、第12次派遣団として中学生を派遣します。現在は、庄内人としてはじめてアメリカに渡り、姉妹都市の盟約を結ぶきっかけとなった庄内藩士・高木三郎氏の功績や、英語でのコミュニケーションを進めているところなど、両市の架け橋となるよう、訪問してまいります。帰国後は、市民のみなさんへの報告会も予定しています。

県内初!!

荘銀タクト鶴岡が地域創造大賞(総務大臣賞)を受賞しました!



表彰式の様子

1月17日に東京都で表彰式が行われました。この賞は創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに功績のあった公立の文化施設に授与されるもので、県内では初受賞です。本格的な鑑賞事業を行うほか、街なかと連携した事業、施設を開放する多彩な催し、アウトリーチや支援の必要な人への鑑賞サポートなど、文化による新たな交流の創出が評価されました。

ようこそ! 鹿児島市青少年団体リーダー国内研修生

昨年9月20日から3日間、本市兄弟都市の鹿児島市の青年研修生2名、職員1名が本市を訪れました。両市の青年が相互に交流を続けており、鹿児島市から訪れるのは6年ぶり42回目です。

営家での「徳の交わり」の話、市長らとの懇談に始まり、笹巻体験など鶴岡の文化に触れたほか、松ヶ岡開墾墓場、酒田市の南洲神社では戊辰戦争の歴史や庄内地域に残る南洲翁(西郷隆盛)の功績を学び、本市研修生OBと交流を持ちながら3日間の研修を終えました。

青年交流を通じて両市の絆がさらに深まるよう、今後この事業に取り組みしていきます。



表敬訪問にて 研修生と市長、教育長



給食から防災を学ぶ 防災食体験

近年、自然災害が増加し、その脅威は年々身近なものとなっています。生きるために食べることは必要なことです。学校給食センターでは、災害時に備え、実際に防災食を体験してもらおうと今年度から備蓄食品での給食を実施しています。

9月上旬、防災の日になみ行われた初めての防災食での給食。工夫が施された食品に、「思ったよりおいしかった」や「防災に対する準備ができた」などの感想が聞かれました。災害時の食を学ぶ機会として、今後も継続していく予定です。

提供メニュー

《五目ごはん》  
温めたりお湯を入れたりしなくてもそのまま食べられる非常食です。スプーン付きで、容器のまま食器なしでも食べられます。

《野菜ジュース》  
常温保存ができ、災害時不足しがちな食物繊維も摂取できる飲料です。

《ようかん》  
(中学校のみ)  
長期保存が可能で、手軽にエネルギー補給ができます。箱には暗闇でも見つけやすい「ホログラム」や「点字」での案内があります。

